

# 申し合わせ及び注意事項

## 【申し合わせ事項】

本大会の競技は、平成23年度（財）日本バレーボール協会6人制競技規則により行う。

但し、本連盟において別の定めのある場合は、この限りではない。

### ○ 登録・資格

1. 部長、監督、コーチ、マネージャー（主務）及び選手は、毎年4月30日迄に愛知大学バレーボール連盟、および全日本大学バレーボール連盟に登録された者を認める。ただし、春季大会において5月31日以前に大会が行われる場合は、その試合の前日までに大会本部に届け出のなされた者は認める。また、秋季大会の新登録については、代表者会議迄に届け出のなされた者のみ認め、それ以降は絶対に認めない。また登録料もとる。
2. トレーナーについては、トレーナーとして部長が認めた者をベンチに入ることができる。
3. 部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャー（主務）の変更は、正式届出用紙で届け出のあった場合に限り、代表者会議においてこれを認めることができる。但し、監督、コーチ、トレーナー、マネージャー（主務）については前試合の第1セット終了までに正式届出用紙で届け出のあった場合のみ、その試合に限り参加申込書に登録されている者の中から代理を認めることができる。
4. 愛知大学バレーボール連盟に加盟している大学の2チーム以上にわたる監督、コーチ、トレーナー、マネージャー（主務）及び選手の登録はこれを認めない。ただし、同一大学の男子チーム、女子チームの監督、コーチ、トレーナー・マネージャー（主務）は、両チームへの登録を認める。監督、コーチ、トレーナー、マネージャー（主務）は選手と兼ねることができる。
5. 公式記録員には審判講習会参加者のみ参加申込書に登録し、これ以外は認めない。
6. 本大会の学生審判員の活動は、愛知大学バレーボール連盟公認学生審判員規定により行う。なお、審判については男女全ての部で当該所属チームの学生審判員が行い、その割り当てなどを、大会終了後愛知大学バレーボール連盟まで報告すること。

### ○ 競技運営

1. ベンチには有効に登録された部長1名、監督1名、コーチ1名、トレーナー1名、マネージャー（主務）1名、選手14名の計19名の着席を認める。その際、監督は試合中ベンチで記録席に最も近い位置にいなければならない。但し、男子チームの女子マネージャー（主務）、女子チームの男子マネージャー（主務）は当該学生であること。部長章・監督章・コーチ章・トレーナー章・マネージャー（主務）章は各チームで揃え、必ず左胸部に付けること。又、主将章は胸中央部の番号の下に付けること。各章がついてない場合は、ベンチに入ることを禁止する。
2. チームの構成人数とリベロ競技者の数については、以下のように定める。尚、下記の「正規競技者」にはリベロ競技者を含む。
  - ・正規競技者が12名以下の場合、リベロ競技者数は0名、1名、2名のいずれでもよい。
  - ・正規競技者が13名以上の場合、リベロ競技者数は2名でなければならない。
3. 背番号は参加申込用紙に登録された1番から99番までの番号とし、その変更は認めない。但し、代表者会議において正式届出用紙で届け出のあった場合に限り変更を認める。尚、1番から18番までの一連の番号を使用することが望ましい。
4. 自主運営の各部については別に申し合わせ事項を決定することができる。
5. 試合形式
  - ・セット形式
    - ☆3セットマッチ・・・・・・・・・・男女全ての試合
6. ・試合開始設定時刻
  - ☆第1試合のみ設定・・・・・・・・・・男女全ての試合
  - ※第2試合以後のプロトコール時刻
  - 男女全ての試合・・・・・・・・・・原則15分後
7. 原則として、試合開始のホイッスルより15分経過しても選手が6名に満たない場合は、そのチームは棄権したものとみなす。但し、遅刻について正当な理由がある場合は柔軟に対応する。なお、その間のコート内での練習は主審の判断で認める。
8. チーム役員の服装
  - ・試合中、ベンチに入るチーム役員は、ジャケットを着用するか、チームで統一されたトレーニングウェアを着用することが望ましい。
  - ・部長・監督がジャケットを着用して、コーチ・トレーナー・マネージャー（主務）がトレーニングウェアを着用することが望ましい。
  - ・プレーヤーと違うトレーニングウェアを着用する場合は、チーム役員は統一されたものを着用することが望ましい。
  - また、ベンチに入るチーム役員が学生ではない者と学生の場合は学生ではない者と学生で服装が違っても良いが学生でない者同士、学生同士で統一することが望ましい。場合によっては競技委員長、審判委員長の協議のもと判断する。
9. 原則として、公式練習時にメンバー以外の役員、選手は参加できないが、エントリーされた選手以外に若干名のボールコレクターをアリーナ内に出すことを認める。ボールコレクターはユニフォームを着用しないこと。また、チームで統一された服装（チームウェア）を着用することが望ましい。（両チーム8名までとする）
10. 競技中にタイムアウトの要求が出来るのは、監督とゲームキャプテンだけである。尚、審判及びゲーム内容について質問出来るのは、

ゲームキャプテンのみである。

11. ユニフォームについて
  - ・ユニフォームのデザインはチームで統一（リベロ・プレイヤーを除く）されていなければならないが、ユニフォームの袖の長さはチームで統一されていなくてもよい。
  - ・リベロ・プレイヤーのユニフォームは、他の競技者とはっきりと区別がつくものでなければならない。（反対デザインものは禁止）
  - ・ソックスは長さ色が統一されたものを着用することが望ましい。
  - ・ハイネックのアンダーウェアもユニフォームの一部である為、チームで統一して着用していない場合ユニフォームから明らかにみ出しているものは着用を認めない。
  - ・ユニフォームのショートパンツからはみ出したパワーパンツは禁止する。また、ユニフォームの上から腰に巻くようなゴムのベルトやプロテクターは、明らかに色が違う場合には、ユニフォームの下に着用すること。
12. 補助役の服装についてはチームで統一することが望ましい。
13. クイックモップー制
  - ・試合中のワイピングはコートの手で行うことを原則とするが、ワイパー専門の2名を置くことを認める。但し、ユニフォームは着用しないこと。
  - ・待機場所は1名は記録席のすぐ隣り、もう1名は自チームのベンチ最後部とし、低い姿勢で待機しコート内に汗等が付着した場合には、素早くワイピングタオルで拭き取りコート外に出ること。又、セット間、タイムアウト間にモップでコートを拭き取ることを認める。
  - ・ワイパー専門の2名はチームとは別の組織のものとする。また、チーム事情によりクイックモップーを出す事が不可能な場合はコート上の選手が、各自ワイピングタオルを持ち拭き取ること。
14. タイムアウト中は事故防止の為、必ずモップ掛けをすること。尚、原則としてクイックモップーがいるチームはクイックモップーが行い、不在のチームに関しては選手が行うものとする。
15. クーラーボックス、ボトル、救急箱等はベンチの後ろに置くこと。
16. 次の試合の選手、役員は試合終了の挨拶が終了するまでアリーナに入ってはならない。又、待機中ボールは絶対にボールゲージから出してはならない。（ボールを持つことも禁止する）
17. プロトコール前には、その試合の審判、副審、記録員、線審、点示員は指定された場所に集まり事前ミーティングを行うこと。なお、この時の審判、副審、記録員、線審、点示員はチームとは別組織とし、一審判団として形式される。
  - ※ 以上の事項に違反した場合は、理事長・大会委員長・競技委員長の会議により処置を定める。

#### <注意事項>

- ① トスは必ず各チームの主将がユニフォームを着用して行う。各チームは早めに集合場所に集まること。
- ② 会場に到着したチームは直ちに本部受付にその旨を連絡すること。
- ③ 各チームルールブックを熟読し試合運営の円滑化に協力すること。
- ④ 記録、線審のミスは極力しないこと。
- ⑤ 机、椅子などの指定以外の持ち出しは厳禁とする。
- ⑥ 大会会場は混雑するので盗難予防の為、所持品は各チームが責任を持って管理すること。
- ⑦ 喫煙、飲食等については、その会場の規則に従うこと。
- ⑧ ガラス、照明等の会場の一部を破損した時は、その旨を本部に連絡すること。
- ⑨ 各チームの控え場所は必ず掃除をして会場をでること。
- ⑩ ベンチには部旗（矢尻をはずしたもの）、飲料、救急用具等の必要品以外の物を持ち込むことを禁止する。
- ⑪ ゲーム中のボールデットの処理は線審の手をわずらわすことなく選手間で行なう。
- ⑫ リベロベストの着用は1部リーグでは認めない。2部リーグ以降は原則として認めない。
- ⑬ ユニフォームのナンバーは、胸部の高さは、最小限15cm、背部の高さは最小限20cmのものでなければならない。ナンバーの字幅は、最小限2cmである。
- ⑭ 施設、設備の不備によるケガ等については、運営主体である各所で責任をとること。